

連携主要テーマ取組状況

テーマ:「“オールやまがた”による減塩・ベジアッププロジェクト」

(関係部局:総務、◎健福、農林、教育、総支)

○目的

「健康長寿日本一」の実現に向け、山形が誇る豊かな“食”を楽しみながら“オールやまがた”で食生活の改善に取り組む「減塩・ベジアッププロジェクト」を展開し、広く県民に減塩や野菜の摂取を呼びかけ、健康的な食生活の普及・定着を促進する。



| 取組項目 | 目標 (定量的目標指標) | 主要ターゲット(エリア・訴求対象) | ポイント (情報発信のタイミング、媒体、手法・デザインの斬新性等) | 他部局との連携に当たっての工夫(手法等) | 結果・成果(アウトプット・アウトカム指標)、評価・課題等 |
|----------------|--------------------------|--------------------------|--|---|--|
| 減塩ベジアップキャンペーン等 | キャンペーンの開催回数(3回) | 食塩を摂り過ぎな県民 野菜が不足がちな県民 | 集客を狙い、スーパーのサービスデー等にあわせてキャンペーンを実施 | チラシの共同作成、イベントの共同開催(総務、農林、総支) | キャンペーン(8回)を実施し、テレビや新聞でも取り上げられ周知が図られた。スーパー等と連携し、コロナの感染対策を徹底した広報活動が必要とされる。 |
| メディアを活用した普及啓発等 | 新聞広告(1回) テレビ(1回) | 食塩を摂り過ぎな県民 野菜が不足がちな県民 | 県政広報媒体を有効に活用 ホームページ、SNS、新聞、ポスター、チラシ等、多様な媒体を活用 | 発信内容の共同企画(総務、農林、教育、総支) | 「県民のあゆみ」(全戸配布)、「やまがた健康ガイド」(20万部)、県政テレビ(2回)等で情報発信し、周知が図られた。大手食品メーカーとのタイアップなど、発信力向上の工夫が必要とされる。 |
| 減塩・ベジアップ教育等 | 栄養大監修リーフレットの配布枚数(3,000枚) | 食塩を摂り過ぎな県民 野菜が不足がちな県民 | 子ども(食育)から家族(家庭)に減塩・ベジアップを呼びかけ | リーフレットの共同配布、学校給食を活用した食育の連携(総務、農林、教育、総支) | リーフレット(約8,500枚)を活用し、家庭・学校、地域への周知が図られた。コロナの感染対策を徹底した食育・広報活動が必要とされる。 |

○総括

目標を概ね達成し、減塩・ベジアップの周知が図られた。今後は、HPなどによる行政からの情報発信に加え、スーパーや食品メーカー等の民間企業による情報発信も積極的に活用して、一層効果的な広報を行う。